

現状に合わせた行動段階・ゾーニングの一部変更について

1. 行動段階フローチャートの一部変更

現行計画における行動段階フローチャートは詳細に定義されているが、その結果現場での対応（判断）に苦慮する場面が発生している。例えば、知床横断道路（特定管理地）において車に手を触れる（壊す）個体の行動段階は1+となる。この場合、現行計画の対応方針では捕殺とならない。本来はこういった個体については、人身事故発生防止の観点から捕殺対象個体となる。そのため、ヒグマの行動段階フローの定義に一定程度の柔軟性を設け、より柔軟に現場対応を適切に行えるように変更した。

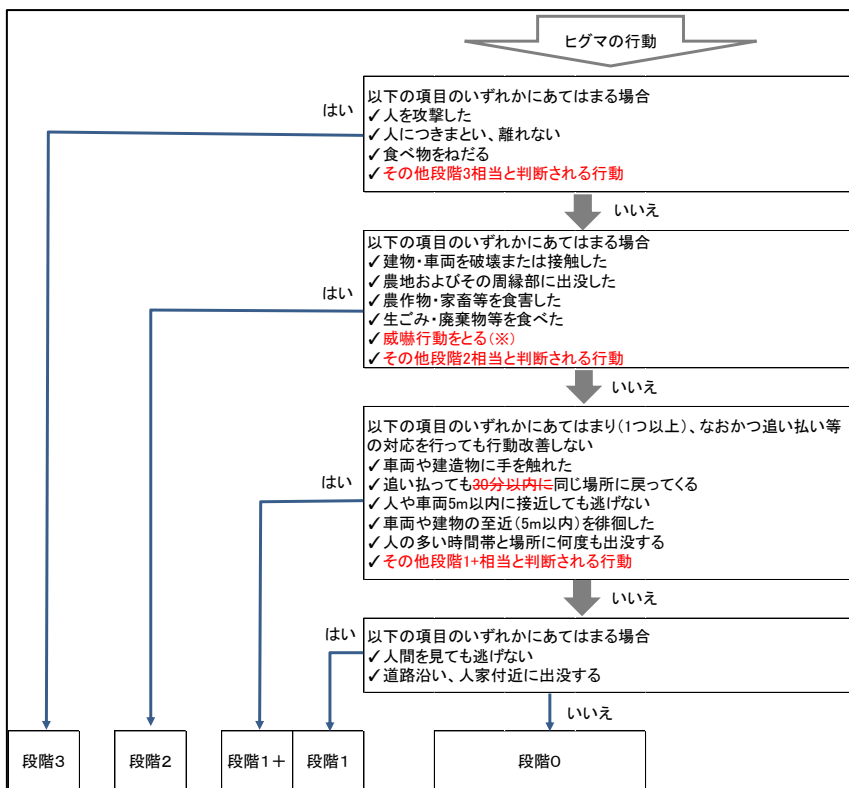
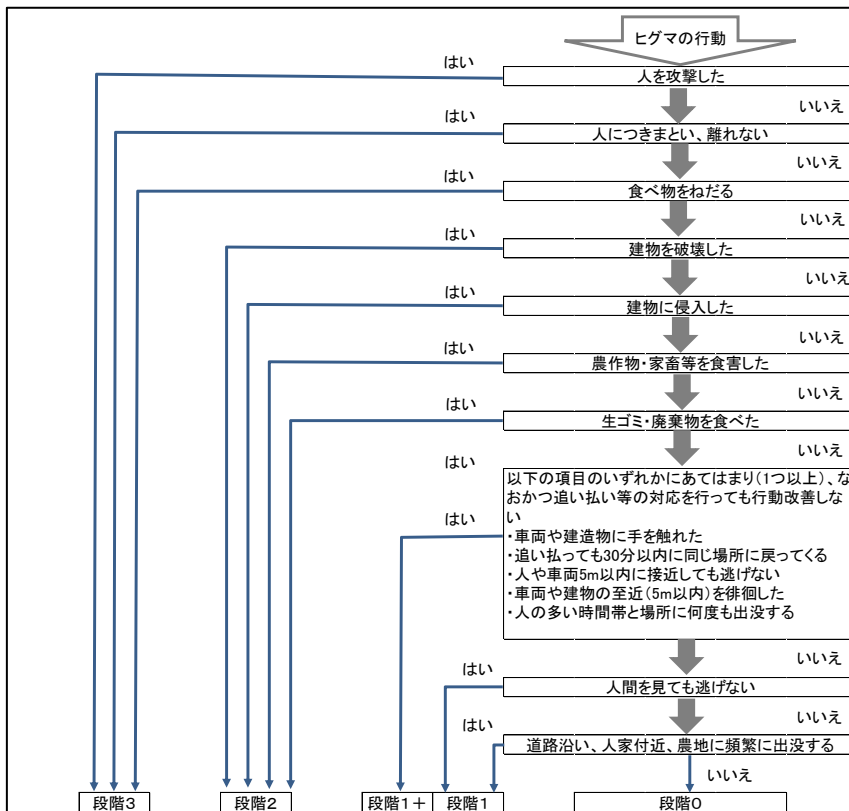


図1. ヒグマ行動段階フローチャート (上：現行計画、下：変更後)

※母グマの防衛本能等の理由が明確な場合を除く

2. ゾーニングの一部変更

現行計画におけるゾーニングでは、住居集合地等であるにも関わらずゾーン3に設定されているエリアがある等、現地対応の際に混乱が生じていた。今後、人口密集地・人の利用が多いエリアにおいて、ヒグマの出没による人身事故の発生を防止するために、ゾーニングの範囲を変更した。各町の変更点については以下の通りである。

(1) 斜里町におけるゾーニングの主な変更点

- ・実態に合わせてゾーン4およびゾーン3を見直し。
- ・幌別川左岸エリアのゾーニングを特定管理地からゾーン3へ変更。
- ・日の出からウトロトンネル間の道路沿いをゾーン2からゾーン3へ変更。

(2) 羅臼町におけるゾーニングの主な変更点

- ・ゾーン4の範囲を道路から200mに統一。
- ・峯浜地区の海岸線沿いの住宅地エリアをゾーン3から4へ変更。
- ・ルサ・相泊間の特定管理地をカモイウンベ川右岸まで拡大。また道路からの設定距離をゾーン3と同様とした。

(3) 標津町におけるゾーニングの主な変更点

- ・羅臼町の峯浜地区と同様に海沿いの住宅エリアをゾーン3から4へ変更。

<斜里町全体図>

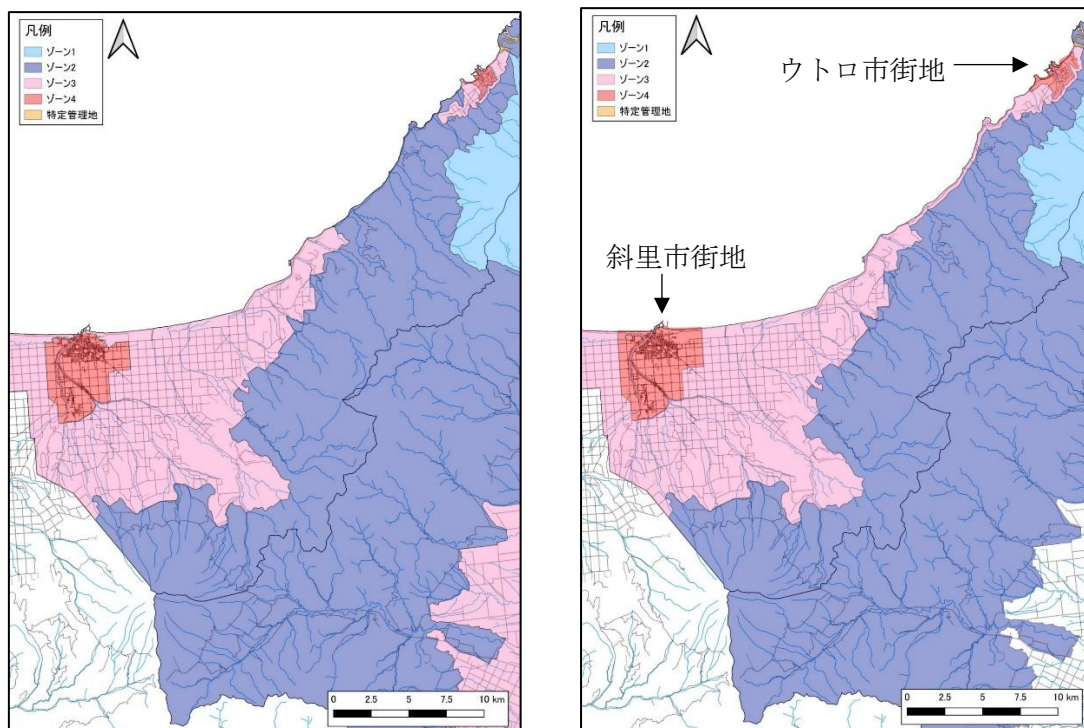


図2. ゾーニング図 (左：現行計画、右：変更後)

<斜里市街地>

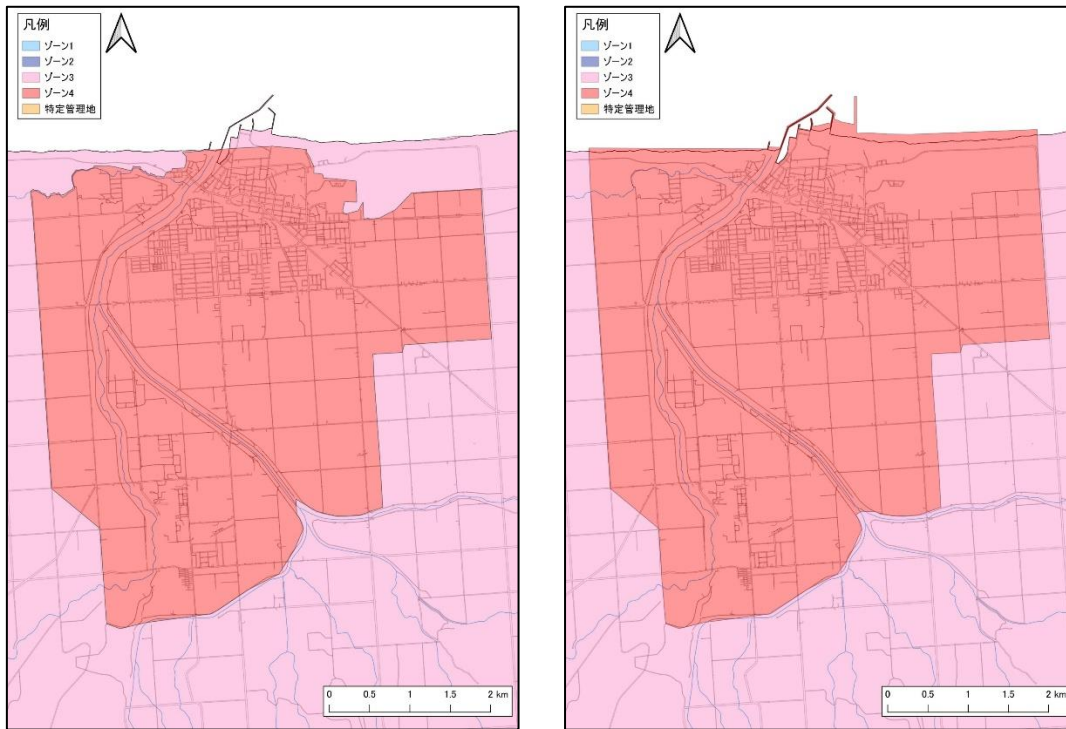


図3. 斜里市街地ゾーニング図（左：現行計画、右：変更後）

<ウトロ市街地周辺>

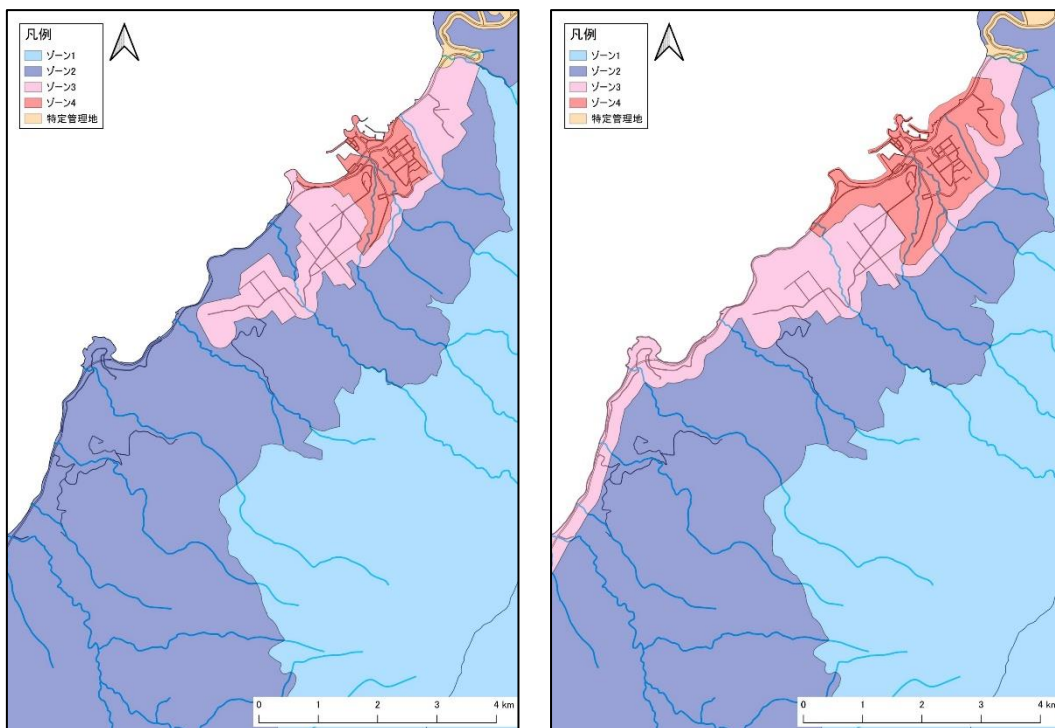


図4. ウトロ市街地周辺ゾーニング図（左：現行計画、右：変更後）

< 羅臼町 >

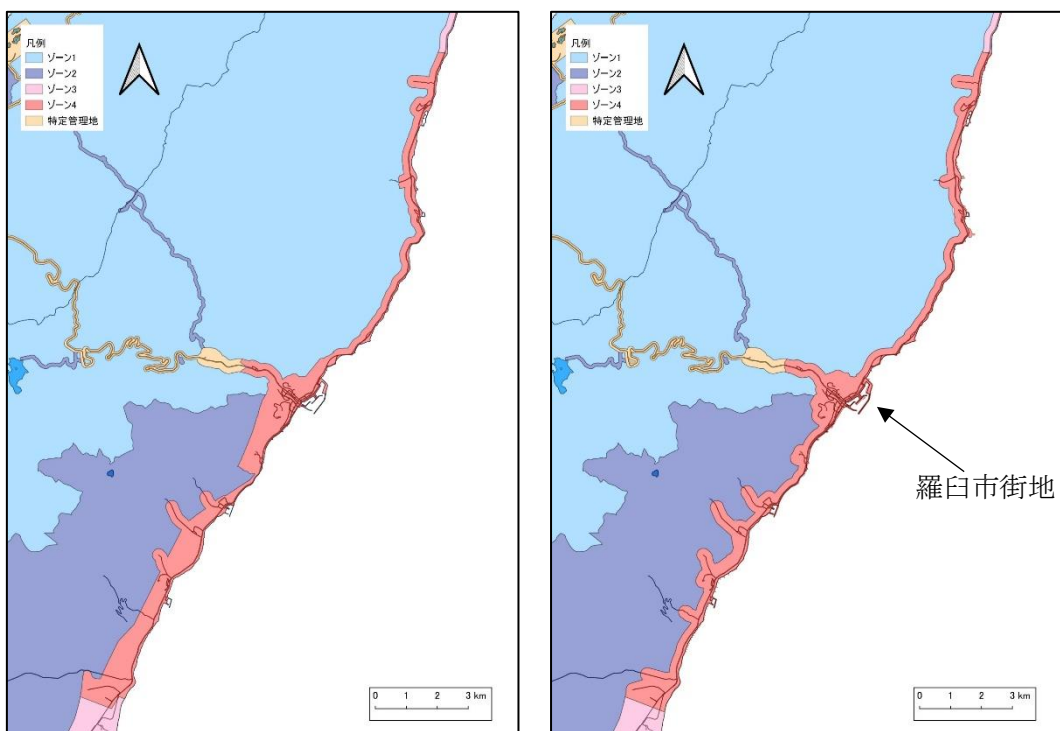


図 5. 羅臼町ゾーニング図 (左：現行計画、右：変更後)

< 羅臼町峯浜地区 >

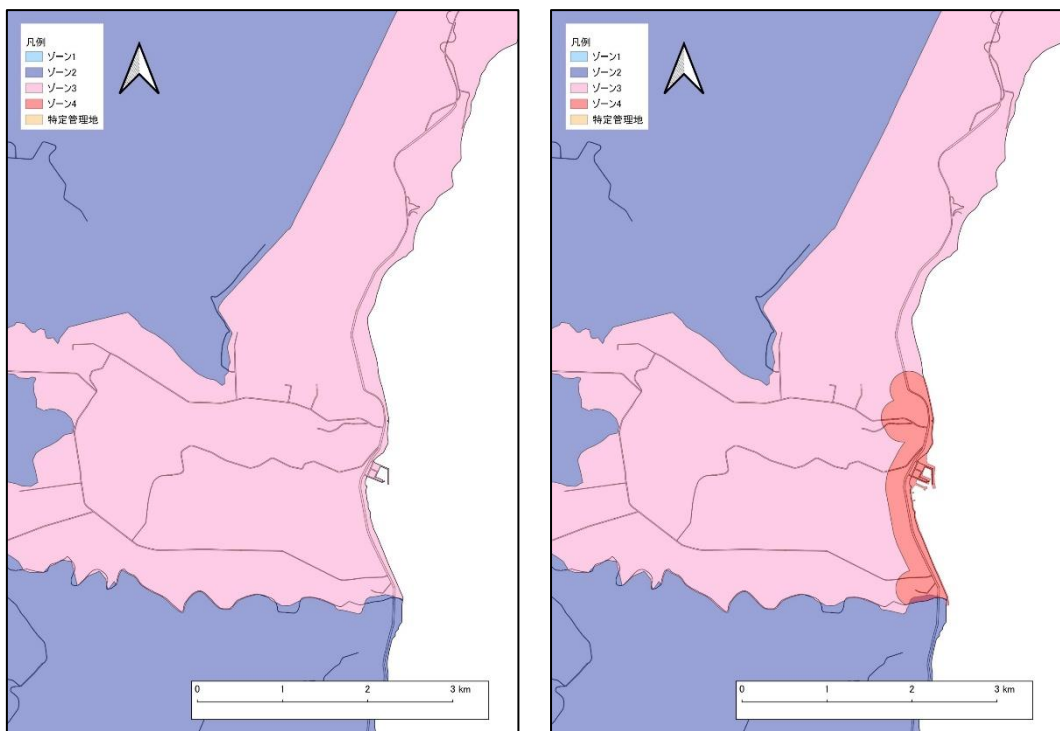


図 6. 羅臼町峯浜地区ゾーニング図 (左：現行計画、右：変更後)

<羅臼町ルサ-相泊地区>

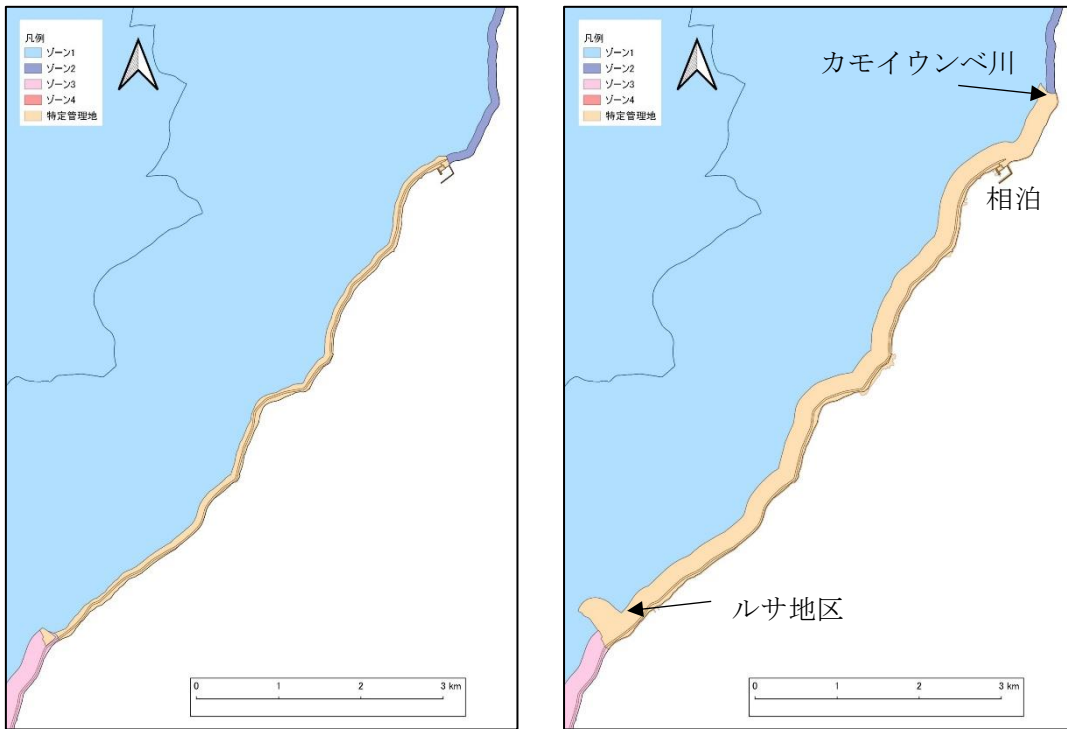


図7. 羅臼町ルサ-相泊地区ゾーニング図 (左：現行計画、右：変更後)

<標津町>

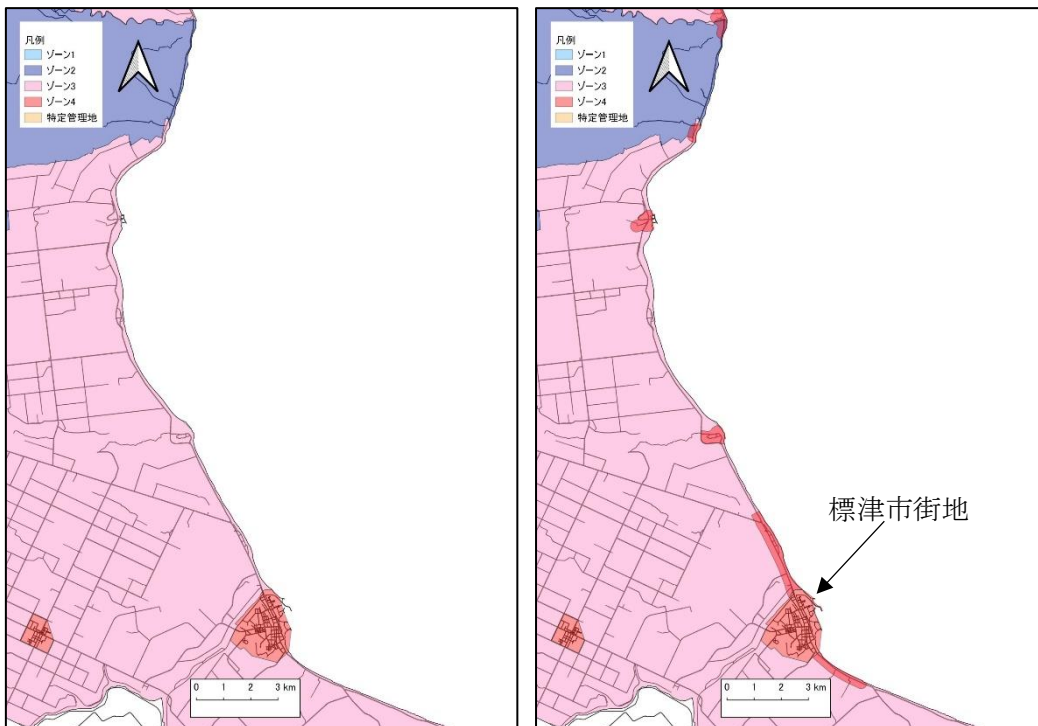


図8. 標津町ゾーニング図 (左：現行計画、右：変更後)